

エゾモモンガ

ってどんな
動物？

入門編



チーム・モモンガ

帯広畜産大学 野生動物管理学研究室

Q1 エゾモモンガは何のなかま？

エゾモモンガはネズミ目リス科の動物です。北海道には同じリス科の動物としてエゾリスとシマリスがいます。この3種類は活動する時間や空間、エサや巣などの資源を使い分けているので、同じ場所で暮らす事ができます。

エゾモモンガと同じ、リス科の仲間たち



Q2 エゾモモンガは北海道だけにいるの？

エゾモモンガと同じ種類の動物（同種）はタイリクモモンガといい、フィンランドからシベリア、中国東北部、朝鮮半島、サハリンなどに広く分布しています。日本では北海道だけに生息し、北海道の保護動物に指定されています。本州・四国・九州にはニホンモモンガという別の種類のモモンガがいて、この種は日本だけにいる「固有種」です。エゾモモンガとニホンモモンガはそっくりで、外見ではほとんど見分けが付きません。

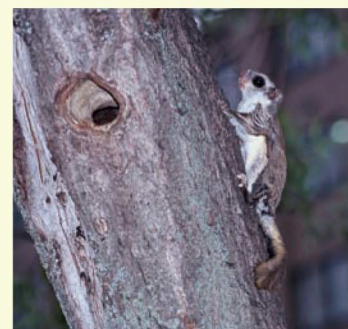
僕たちニホンモモンガです。そっくりでしょ？



巣箱から顔を出した
ニホンモモンガ

Q3 どんなところに住んでいるの？

エゾモモンガは食べ物も住むところも、移動の手段もすべて木に頼っています。木のないところでは生きていけません。逆にまとまった林があれば、平地から高山帯まで、北海道のほぼ全域に分布しています。帯広市では市街地の公園や学校の林、防風林などにもいます。



帯広畜産大学構内のエゾモモンガ

Q4 エゾモモンガの巣は？

エゾモモンガの巣は基本的には樹洞（じゅどう）という木にあいた穴です。特にアカゲラなどのキツツキの古巣を良く使います。小鳥用の巣箱も好んで使います。そのほかエゾリスの巣やキジノトやカラスのなど鳥の古巣も使います。



樹洞

小鳥用巣箱



アカゲラの古巣
(樹洞の中)



30cm



30cm

エゾリスの古巣の中の
モモンガの糞と巣材

モモンガが好むアカゲラの古巣は、出入り口の大きさが約4.5cm、内部の直径が約12cm、深さが27cmくらいです。冬には保温のため、より深い樹洞が好まれる傾向があります。巣の中にはヤマブドウの皮を細かく裂いたものが巣材として使われています。

Q5 エゾモモンガはいつ活動するの？

エゾモモンガは夜行性の動物です。ふだんは日没から平均15～20分くらいで巣から出て活動を始め、何度か巣に戻って休みます。最後の活動はだいたい日の出前20～25分くらいに終わります。巣の外に出ている時間のほとんどはえさを食べる事に使われます。



Q6 エゾモモンガは冬眠しないの？

エゾモモンガは1年を通して活動します。春と秋に毛が生え変わり、夏毛は褐色（茶色）、冬毛は白っぽい灰茶の毛色にかわります。冬眠はせず、冬にも1日1度は出てきてえさを食べます。ただし、寒さの厳しい時期の活動時間は短く、明け方近くに1日1回出てきて、1時間弱で巣に帰るときもあります。



褐色の夏毛のエゾモモンガ



白っぽい冬毛のエゾモモンガ

Q7 エゾモモンガはいつ繁殖するの？



子モモンガ4兄弟

エゾモモンガは年に2回繁殖します。最初の出産は4月中旬から、2度目の出産は7月中旬から始まります。1回に産まれる子の数は2匹～6匹で平均3.3匹。子育てをするのは母親だけです。

Q8 エゾモモンガの子はいつごろ巣立つの？

エゾモモンガの子はゆっくりと成長します。産まれたばかりの子は3～4g、赤はだかで目も耳も開いていません。生後10～12日でくっついていた手足の指が1本ずつ分離します。下あごの歯が出始めるのが生後20日、上あごの歯は生後約28日が出てきます。生後30日くらいで体中が毛におおわれ、生後35日で目が開きます。行動は、生後20日くらいまでは前足を使って「はう」だけですが、生後28日くらいから前足後ろ足を使って歩けるようになります。生後40日くらいで巣から出て固形物を食べ始め、生後50日頃から滑空の練習を始め、生後60日頃から親元を離れて巣立ちを始めます。



生後間もなく



生後1週間



生後2週間



生後3週間



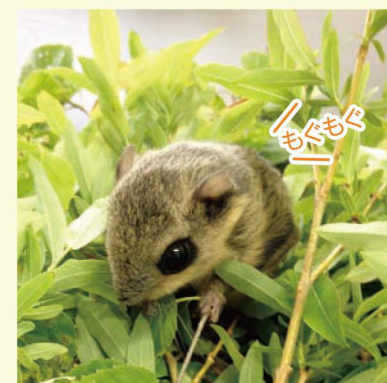
生後4週間



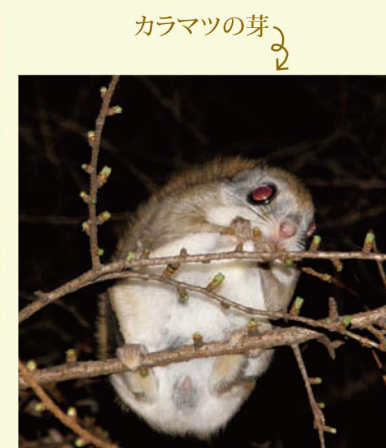
生後5週間

Q9 エゾモモンガは何を食べているの？

エゾモモンガはほぼ完全な植物食です。春にはヤナギ類、シラカバ、ハンノキなどの若葉を食べています。夏から秋にかけては、ヤマゲワやサクラの実、シラカバ、カエデなどの実、まだ青いカシワやミズナラのドングリを食べます。冬にはシラカバ、ハンノキ、カラマツなどの冬芽や花穂を食べます。



イヌコリヤナギの葉



カラマツの芽



エゾモモンガってどんな動物？ [入門編]

柳川 久, 谷口明里, 山口裕司, 浅利裕伸, 村木尚子, 名嘉真咲菜, 鈴木 圭, 鳥本 樹, 大熊 勲, 濱田瑞穂, 家入明日美, 野村友美
協力: おびひろ動物園

このパンフレットは、帯広畜産大学基金の助成を受けて作成されました。